

物理談話会

(先端物理学・宇宙地球科学輪講)

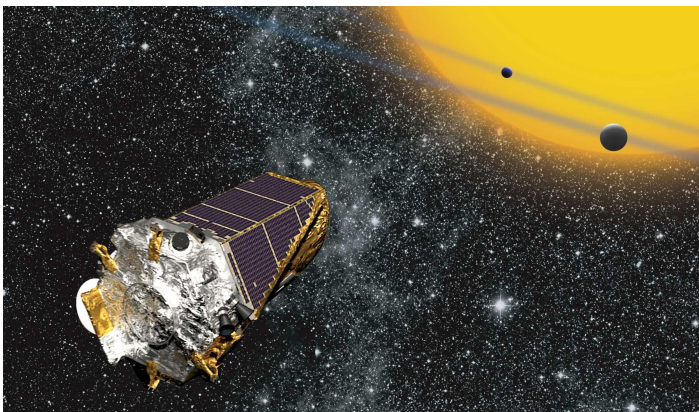
【日時】 10月16日(金) 15:10~16:40

【場所】 大阪大学理学部本館D棟5階(D501)

「太陽系外惑星系のアーキテクチャ」

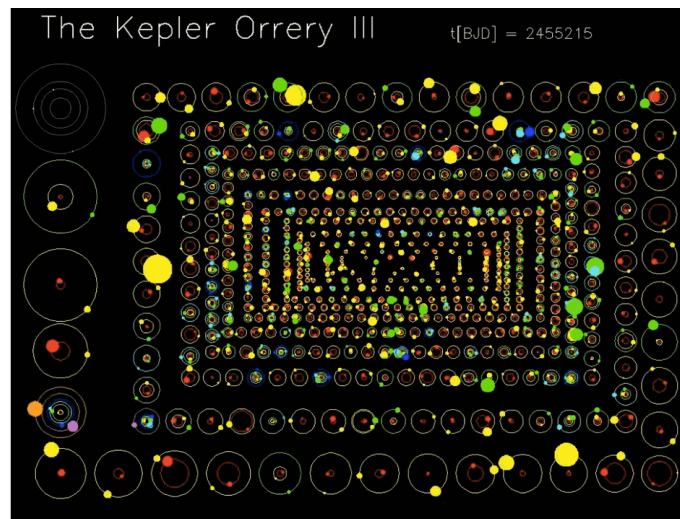
講演者: 増田 賢人(宇宙地球科学専攻)

【講演要旨】 太陽以外の恒星を公転する惑星(太陽系外惑星)が最初に発見されてから20年以上が経ち、現在では4000を超える系外惑星が知られている。これらの発見は、惑星系が銀河系においてありふれた存在であることを示した一方で、太陽系の惑星とはかけ離れた物理的性質や軌道をもつ惑星が数多く存在することも明らかにした。本講演では、地上からの分光観測およびNASAのケプラー探査機による宇宙からの測光観測に基づく成果を中心に、系外惑星系の存在頻度や軌道構造の多様性について天文観測から得られた知見を紹介する。



(左)ケプラー探査機のイメージ(NASA Ames/W Stenzel)

(右)ケプラー探査機により発見された複数惑星系の軌道構造(NASA/Daniel Fabrycky)



物理談話会(先端物理学・宇宙地球科学輪講)

<http://www.phys.sci.osaka-u.ac.jp/ja/grad/rinkou.html>